

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 生徒指導論 (英文名) Theory of School Guidance and Counseling	2単位 (春 期)	(ふりがな) いわま ひろし 担当者 岩間 浩 e-mail iwama@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要: この講座の目的は、生徒指導・教育相談のあり方を学習し、将来の教育活動の準備をすることである。 内容は以下のスケジュールを参照のこと。また、口頭発表によってテーマの内容を学ぶと共に発表の仕方を学ぶ。		
教科書: 岩間浩編著『生徒指導講義資料集:信頼を育む学級作りを目指して』(オリオン出版、1000円)		
参考図書: 文部省『小学校生徒指導資料』1～7 文部省『生徒指導の実践上の諸問題とその解明』、『生徒指導に関する諸問題』 文部省教職研究会編『生徒指導ハンドブック』教育開発研究所、平成2年、など。		
評価法: 試験(無し)、レポート(有り)		
具体的評価方法等: 試験およそ70% 口頭発表及び参加状態およそ30% オフィスアワー: 後日掲示、14号館1階初等教育教材準備室または12号館519室		

【授業計画】

回 数	講 義 テ ー マ と 概 要
第1回	イントロダクション及び口頭発表の仕方について
第2回	生徒指導とはⅠ(人格形成と生徒指導、教科指導と生徒指導ほか)
第3回	生徒指導とはⅡ(生徒指導の消極面と積極面ほか)
第4回	生徒指導とはⅢ(生徒指導の目標と内容ほか)
第5回	学校における問題と生徒指導Ⅰ(いじめ)
第6回	学校における問題と生徒指導Ⅱ(不登校)
第7回	学校における問題と生徒指導Ⅲ(学級崩壊) グループ口頭発表準備
第8回	学校における問題と生徒指導Ⅳ(校内暴力、ひきこもりなど)口頭発表
第9回	教師の問題(過労、心の病、暴力など) 口頭発表
第10回	その他の問題と種々の改善策 口頭発表
第11回	カウンセリング・マインドと教師 口頭発表
第12回	スクールカウンセラー制度 口頭発表
第13回	癒しの原理と方法Ⅰ 口頭発表
第14回	癒しの原理と方法Ⅱ 口頭発表
第15回	癒しの原理と方法Ⅲ 及びレポート提出
	(注) 現在の日本の教育病理問題にいじめ、不登校、学級崩壊、児童の神経症がある。授業ではこれらを中心テーマとし、どうすればそれを克服できるかについて諸々の観点からアプローチする。 期間中、中一後半には各自の選んだテーマごとのグループ口頭発表、および期末レポートが課せられる。 期末レポートの共通テーマは「私はこんな生徒指導をしたい」 なお、左記の授業計画の各回のテーマは学生の口頭発表のテーマに合わせて変えられることがある。